

# 国際学会 Report

## 第7回 アジア太平洋小児心臓学会 (APPCS 2018)

2018年8月30日(木)～9月1日(土) バリ

住友 直方

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科教授

第7回アジア太平洋小児心臓学会(the 7th congress of the Asia Pacific Pediatric Cardiac Society : APPCS 2018) (写真1)はDicky Fakhri会長のもと、インドネシアにあるバリ島のThe Stones Hotelにて、2018年8月30日(木)～9月1日(土)に開催された。大会のテーマは「progress and harmony towards equal care for children with cardiac problems」で、日本語にすると「心疾患をもつ子供を管理するために協力し、発展していこう」となる。

バリ島はインドネシアの首都ジャカルタのあるジャワ島のすぐ東に位置する島で、13,000を超えるインドネシアの島の中で最も有名な観光名所である。街に走っている車両はほとんどが日本車で、さらに多くの日本製のオートバイが縦横無尽に走っていた。おそらく交通事故はとても多いと予想される。またウルワツ寺院のケチャダンス(写真2)も有名で、大勢の男性が一斉に声をあげ

て合唱し、ヒンドゥー教の神話と、古代英雄であるコーサラ国のラーマ王子に関する伝説をまとめた『ラーマヤナ』を基にしたストーリーが繰り返される。

APPCS 2018では、日本小児循環器学会から多くの先生方が出席され、多くの発表があった。Pediatric cardiac surgery のセッションの「univentricular heart repair」では理事長の坂本喜三郎先生が座長で、“management of univentricular heart aiming high quality Fontan”というテーマで神奈川県立こども医療センターの麻生俊英先生の発表があった。Atrial septal defectのセッションでは岡山大学病院の赤木禎治先生が“long-term outcome after transcatheter ASD closure : arrhythmia, valve regurgitation, and cardiac erosion”というテーマで発表された。Hypoplastic left heart syndromeのセッションでは神奈川県立こども医療センターの川滝元良先生が“fetal evaluation of high risk hypoplastic left heart syn-

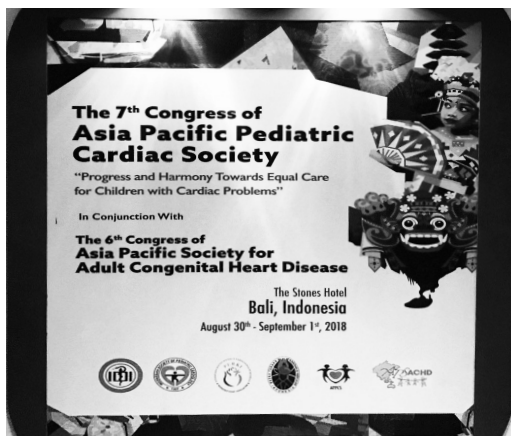


写真1 学会ポスター



写真2 ウルワツ寺院のケチャダンス

SAMPLE